

船舶事故調査報告書

令和2年2月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年10月6日 14時30分ごろ
発生場所	愛媛県松山市興居島黒崎北岸 松山港外港2号防波堤北灯台から真方位319° 1,390m付近 (概位 北緯33° 52.6′ 東経132° 41.3′)
事故の概要	プレジャーボート ^{みやび} 雅 は、漂流中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年10月17日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 雅、2.3トン
船舶番号、船舶所有者等	281-44356 愛媛、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	船底外板に塗膜剥離を伴う擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約4m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、陸岸近くで漂流中、手釣りをしていた船長が、魚が釣れ始めたので、釣りに夢中になっていたところ、北東風により南西方に圧流され、浅所に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首約0.8m、船尾約1.8mであった。
分析	本船は、北東風が吹く状況下、陸岸近くにおいて漂流中、船長が釣りに夢中になって漂流を続けていたことから、南西方に圧流されていることに気付かず、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、北東風が吹く状況下、陸岸近くにおいて漂流中、船長が釣りに夢中になって漂流を続けていたため、南西方に圧流されていることに気付かず、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 陸岸近くで漂流する場合は、風潮流の影響を考慮し、船位の確認を適切に行うこと。